令和２年度

事業年報

九州ブロック血液センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

品 質 方 針

献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応えるため、
関係法令等を遵守し持続可能な血液事業の基盤を確立する

1　行政、医療関係者、教育関係者らと連携して、医療を支える献血文化を次世代に引き継ぎます。
2　献血者から信頼される採血、適切な検査・製造体制により、患者に安心、安全な血液製剤を提供します。
3　行政、医療機関等と連携し、適切な供給体制を実現します。
4　献血から供給に至る、各業務間の情報共有・連携を強化して、的確・効率的な事業運営を推進します。

令和元年 11 月1日　　血液事業本部長　髙橋 孝喜

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Basic Principle

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

基本理念

血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため

需要に応じた献血血液を安定的に確保し

安全性・品質向上に取り組み

献血者の皆様の想いを届けます

日本赤十字社　九州ブロック血液センター

基本理念

献血と輸血医療を赤十字の使命をもって結ぶ

ビジョン

献血思想の普及ならびに安全な血液の安定供給のために地域血液センターと協働し、活力に満ちた九州ブロックの血液事業を展開する。

基本方針

血液事業のプロフェッショナルを目指します。
九州ブロックの血液事業を適正かつ円滑に遂行し、透明な事業運営を行います。
献血の絆を大切にし、血液製剤の更なる安全性と安定供給を目指します。
赤十字の使命を自覚し、誇りをもって主体的に行動する人材を育てます。
献血者・受血者・医療機関から期待されるチャレンジャーであり続けます。

ご挨拶

日本赤十字社
九州ブロック血液センター
所長　入田　和男

九州ブロックにおける血液事業の推進につきましては、平素より献血者の皆様をはじめ、九州・沖縄の地方公共団体、献血推進・協力団体の皆様、医療機関及び関係各位のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、令和２年度の事業年報を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

令和２年度は、初めて経験する緊急事態宣言発令とともに始まりました。長い歴史に刻まれた輸血シンポジウム 2020 in 九州（旧 輸血懇話会）も、止む無く中止に追いやられました。ウイズコロナへの大転換を迫られる中、もはや年中行事にもなってしまいました自然災害への度重なる対応も重なり、熊本地震対応に追われて通常業務が圧迫されることとなった平成 28 年を上回る、過酷な一年となりました。血液製剤の在庫量で問題となりやすいのは、供給本数が圧倒的に多い赤血球製剤です。令和２年度は初回の緊急事態宣言となった４月、豪雨に見舞われた７月、巨大台風に襲われた９月、緊急事態宣言に大雪が重なった１月の計４回、赤血球在庫の低下危機に遭遇しました。台風 10 号では、九州・沖縄全八県での献血中止という、前代未聞の事態も経験することになりました。しかし、何れの危機も、献血者のみなさまの献血への熱意、そして行政ならびに報道機関の後押しを頂戴することで乗り越えることができました。日本赤十字社の血液事業が、国民、そして社会の共感の上に成り立っていることを、改めて認識させられました。献血者のみなさま、ならびに関係者のみなさまに、改めてご協力への感謝を申し上げます。

製造業としては、医薬品医療機器総合機構による無通告査察を受けました。想定通りに初動対応することができましたし、大きな指摘事項を頂くこともありませんでした。また、全血の遠心と分離を一体化した新たな機器が導入されましたが、操作に習熟を要することから、製剤部門には大きな負担となりました。

今後の新型コロナウイルス感染症の新たな展開、今後ますます頻度ならびに凶暴さを増すであろう自然災害にも、職員一丸となって対応し、安定供給の維持という使命を果たしていく所存です。そのためには、危機対応を糧として成長し続けることができる九州ブロック血液センター創りが不可欠です。職員間、部署間の意思疎通、つながりの確保を最優先事項として業務に邁進して参りますので、関係各位におかれましては、引き続き血液事業へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅰ　九州ブロック血液センター概況

1．沿革

平成 20 年 1 月　日本赤十字社九州血液センターを新たに開設
より安全性の高い血液製剤と安定した供給を求められていることから、新しい高度な検査機器を導入して、九州・沖縄 8 県の献血血液の検査業務を開始

3 月　九州 7 県で献血された血液を各県の枠組みを超えて九州血液センターに集め、輸血用血液製剤の製造業務を開始

8 月　感染症検査を凝集法から化学発光酵素免疫法（CLEIA 法）に変更

12 月　全国で 4 施設目となる NAT（核酸増幅検査）を開始

平成 21 年 3 月　糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）を開始

平成 22 年 1 月　変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）対策の献血制限は、輸血用血液製剤の安全性や安定供給等に及ぼす影響を検討した結果、昭和 55 年から平成 8 年の間の英国滞在歴が通算 30 日までの方の献血を可能として緩和

5 月　血漿分画製剤用原料血漿の貯留保管及び検体保管開始

12 月　200mL 全血献血者の方にも、血球計数検査結果の通知を開始

平成 23 年 4 月　採血基準が一部改正され、男性に限り 400mL 全血献血が可能な方の年齢の下限を 18 歳から 17 歳に引き下げるとともに、男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を 54 歳から 69 歳に引き上げ
問診票の質問事項を、14 項目から 23 項目に改訂
複数回献血クラブ会員の会員特典として、新たな複数回献血クラブ会員専用の献血カードを導入

平成 24 年 4 月　広域事業運営体制を開始
日本赤十字社九州血液センターから日本赤十字社九州ブロック血液センターへ改組。
併せて沖縄県赤十字血液センター内の製造施設が日本赤十字社九州ブロック血液センター沖縄製造所（分置施設）となる（4 部 19 課 41 係）
所長に清川博之氏（前：福岡県赤十字血液センター所長）が就任

8 月　HBV の検査基準を変更

10 月　日本赤十字社と田辺三菱製薬株式会社が持つ血漿分画事業を統合して設立した、一般社団法人日本血液製剤機構が事業を開始

平成 25 年 5 月　九州ブロック血液事業関係者会議が発足

9 月　成分採血由来の新鮮凍結血漿の容量を 450mL から 480mL に変更
3 つの製剤規格の容量を整数倍へ（120mL、240mL、480mL）

12 月　九州ブロック管内血液センター表彰制度「グッドジョブ賞」を創設

平成 26 年 5 月　血液事業統一システムから血液事業情報システムへ移行し、運用を開始

8 月　更なる安全性向上のため、8 月 1 日より献血者 1 人分の血液ごとに NAT を行う「個別 NAT」を全国 8 カ所の検査施設で実施
赤血球液（RBC-LR）及び照射赤血球液（Ir-RBC-LR）の製造・供給開始
赤血球濃厚液（RCC-LR）及び照射赤血球濃厚液（Ir-RCC-LR）の製造・供給停止

10 月　ヘリを用いた血液緊急搬送訓練を初めて実施（宮崎県総合防災訓練）

検査サービス通知の基準値を変更

製剤自動化第1期設備(秤量装置、ラベリング装置、袋詰め装置)稼働

11月　分割血小板の採血及び製造を開始

12月　製剤自動化第2期設備(受入装置、ろ過固定ラック、封緘装置、製品化装置)稼働

平成27年4月　一定条件下にある過去の献血血液に対し、シャーガス病の抗体検査を開始

6月　西本至血液事業本部長が退任

7月　田所憲治氏（前：血液事業本部経営会議委員（総括））が血液事業本部長に就任

8月　九州各県合同輸血療法委員会関係者会が発足

11月　九州八県支部合同災害救護訓練に初参加（血液緊急搬送訓練）

平成28年3月　清川所長が退任

4月　所長に入田和男氏（前：佐賀県赤十字血液センター所長）が就任

業務内容見直しに伴う組織の改正を実施（4部17課39係）

事業部に献血管理課、品質部に品質保証課を設置

事業部登録管理課、技術管理課、品質保証課、品質部品質管理課を廃止

品質部検査一課に検査三係を設置

製剤部技術課品質管理係を品質保証係に改称

熊本地震発災に伴う災害対策本部を設置

5月　熊本地震発災に伴う災害対策本部を解散

9月　照射洗浄血小板（Ir-WPC-LR）及び照射洗浄血小板 HLA（Ir-WPC-HLA-LR）の製造・供給開始

10月　第41回日本血液事業学会総会長に入田所長を指名

12月　第41回日本血液事業学会総会ワーキングパーティ開催

平成29年2月　第41回日本血液事業学会総会第1回プログラム委員会開催

3月　田所血液事業本部長が退任

4月　髙橋孝喜氏が血液事業本部長に就任

ブロック血液センター組織体制の変更を実施

総務部の企画課、総務課、人事課を統合し、総務企画課と名称変更

総務企画課に企画係、総務係、情報管理係、人事係、人材育成係を設置

8月　第41回日本血液事業学会総会第2回プログラム委員会開催

10月　医薬品医療機器総合機構によるGMP適合性調査（3日～5日）

第41回日本血液事業学会総会開催（10月31日～11月2日、福岡国際会議場）

12月　九州八県支部合同災害救護訓練に参加（大分）

平成30年8月　くもじ献血ルーム採血分（成分のみ）ブロックセンターに於ける製造を開始

12月　九州八県支部合同災害救護訓練に参加（佐賀）

平成31年3月　沖縄製造所閉所

4月　ブロック血液センター組織体制の変更を実施

総務部の用度課を経理課に統合

経理課に経理係、出納係、用度係、施設係を設置

令和 2年 8月　E型肝炎検査（HEV NAT検査）を開始

9月　採血基準が一部改正され、血圧、脈拍、体温を規定

２．施設概要

（1）日本赤十字社九州ブロック血液センター

所在地：福岡県久留米市宮ノ陣三丁目 4 番 12 号

代表電話：0942-31-8900

構造設備：敷地面積　18,669.93 ㎡

管理棟　　鉄骨造　地上 2 階

製造棟　　鉄骨造　地上 2 階

貯留棟　　鉄骨造　地上 3 階

駐車場棟　鉄骨造　地上 2 階

倉庫棟　　鉄骨造　地上 1 階

延床面積

管理棟１階	702.0 ㎡
管理棟２階	702.0 ㎡
製造棟１階	5,322.34 ㎡
・検査部門	1,870.69 ㎡
・製剤部門	1,409.11 ㎡
・品質管理部門	255.94 ㎡
・需給管理部門	335.60 ㎡
・その他　（共有部分・ポンプ室）	1,451.00 ㎡
製造棟２階（機械室等）	515.19 ㎡
貯留棟１階	1,015.04 ㎡
貯留棟 2 階	368.78 ㎡
貯留棟 3 階	230.92 ㎡
駐車場棟	1,218.75 ㎡
倉庫棟	345.80 ㎡

(2) 日本赤十字社九州ブロック血液センター　筑紫野分室

所在地：福岡県筑紫野市上古賀一丁目 2-1　福岡県赤十字血液センター内

品質部付電話：092-921-1403、製剤三課電話：092-921-1435

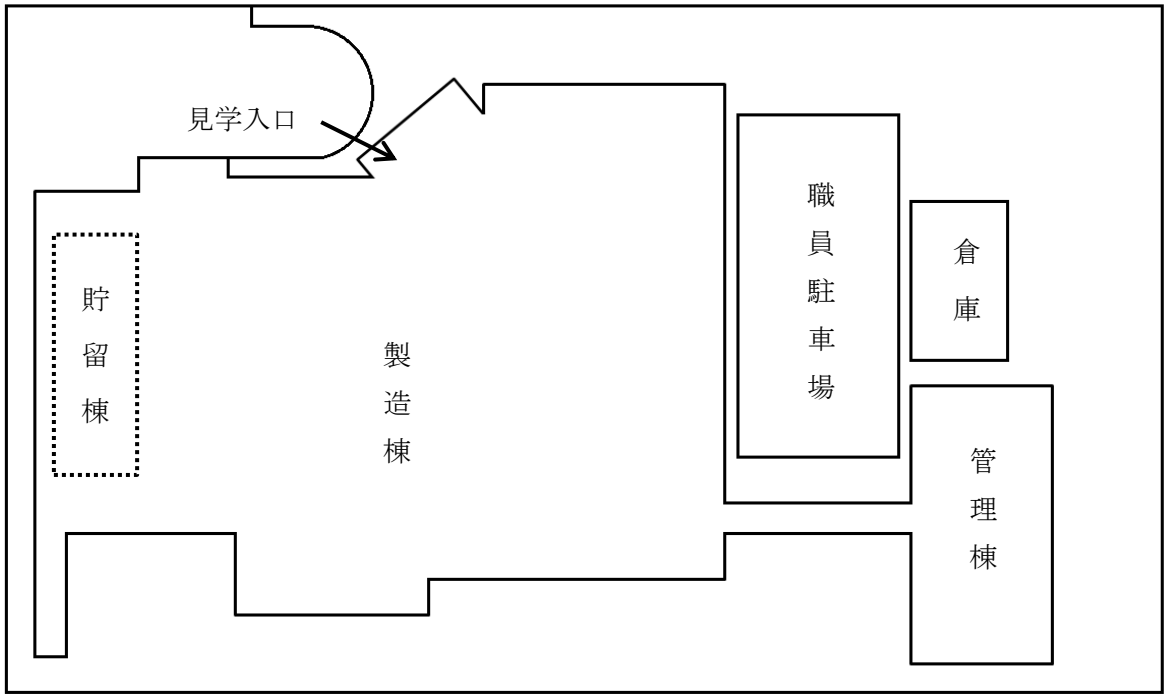
延床面積

3 階　さい帯血バンク受入・検査室	57.67 ㎡
さい帯血バンク細胞保存室	37.50 ㎡
さい帯血バンク資材室	58.19 ㎡
さい帯血バンク事務室	23.40 ㎡
クリーンルーム（大）	79.50 ㎡
更衣室	6.88 ㎡
エアーシャワー	2.38 ㎡
前室	3.54 ㎡
倉庫	5.80 ㎡

	フリーザー室※製剤三課・品質部付共用	88.12 ㎡
	ボンベ室	5.10 ㎡
	機械室	9.28 ㎡
４階	品質部フリーザー室	20.30 ㎡
	暗室	7.38 ㎡
５階	研究室Ａ、Ｂ、Ｃ	116.03 ㎡
	無菌室Ａ、Ｂ、Ｃ（前室含む）	66.69 ㎡
	品質部機器測定室	13.80 ㎡
	品質部個人情報保管室	16.70 ㎡
	品質部事務室	15.10 ㎡
	品質部資材庫	13.00 ㎡
	試薬用冷室	11.00 ㎡
	機械室	5.13 ㎡

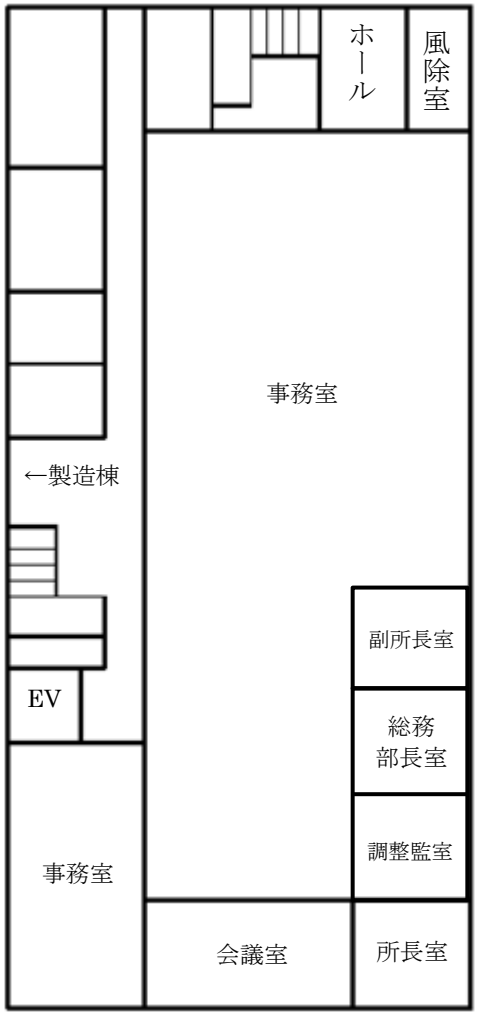
3．施設案内（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

（1）施設構内図

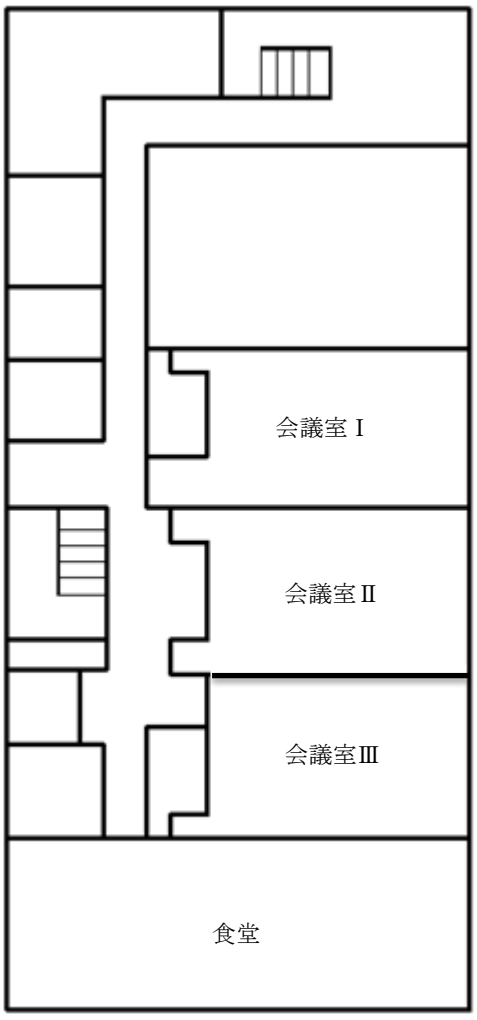


（2）管理棟配置図

【管理棟１階】

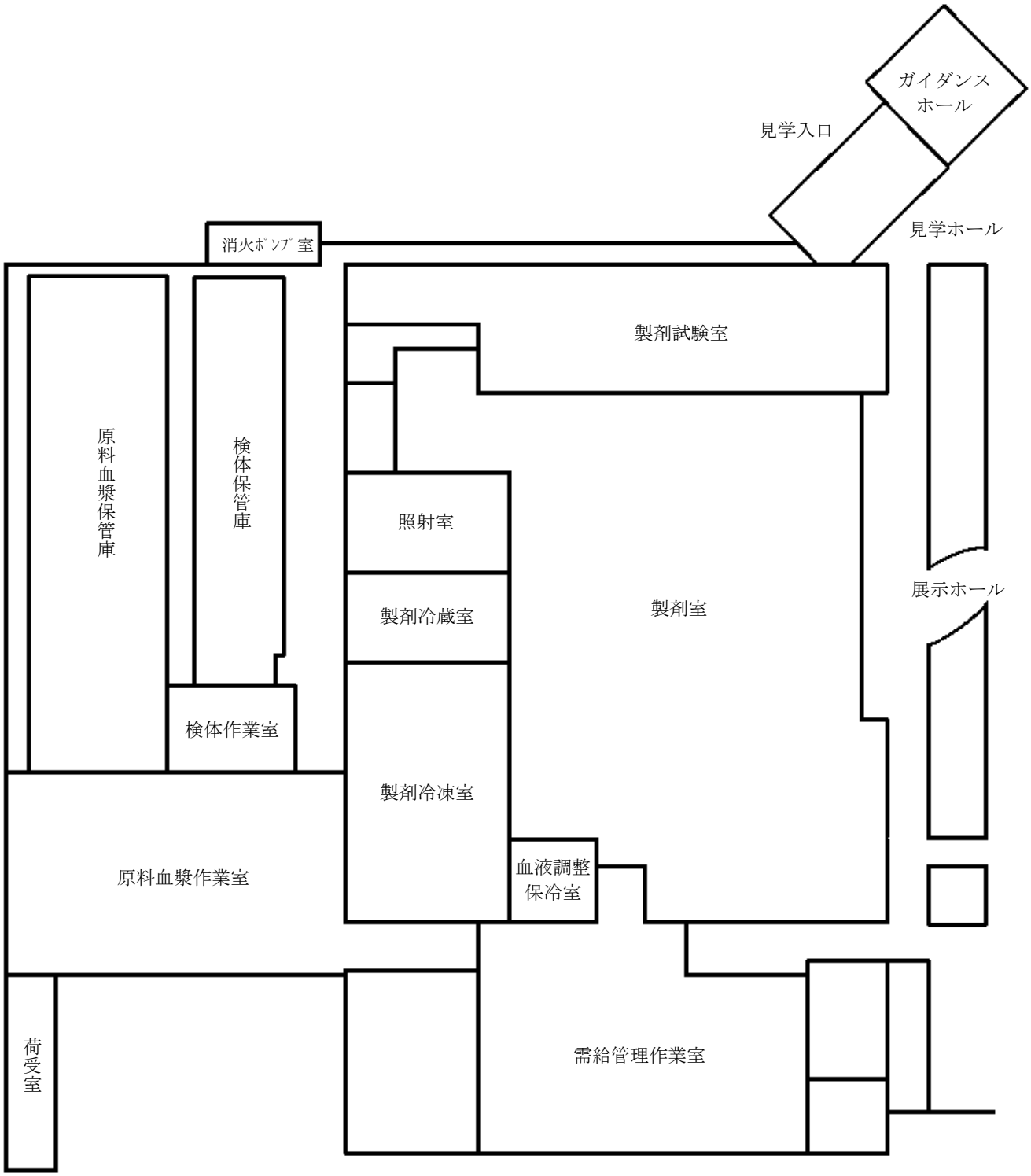


【管理棟２階】

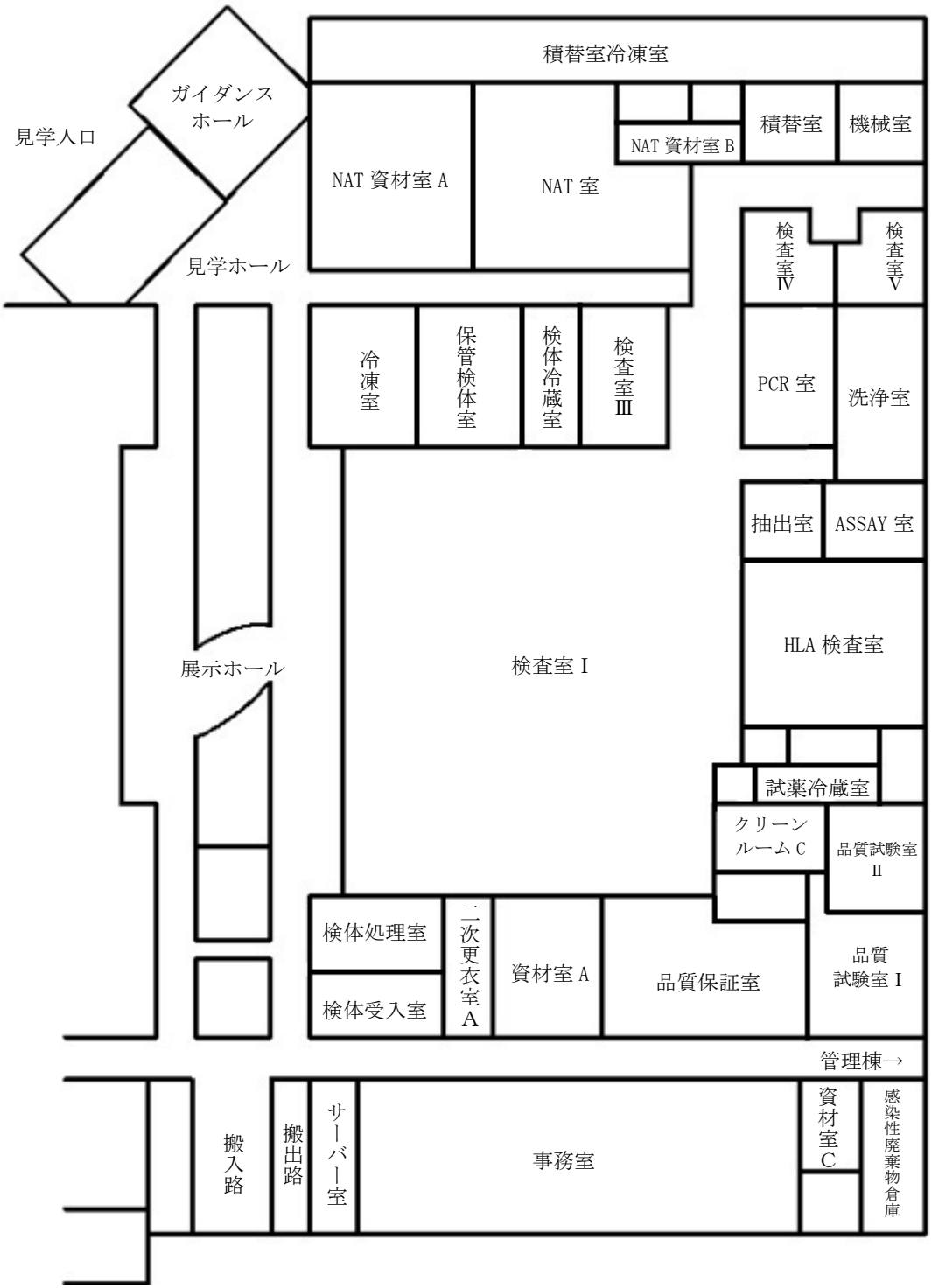


（３）製造棟配置図

【製造棟】1/2

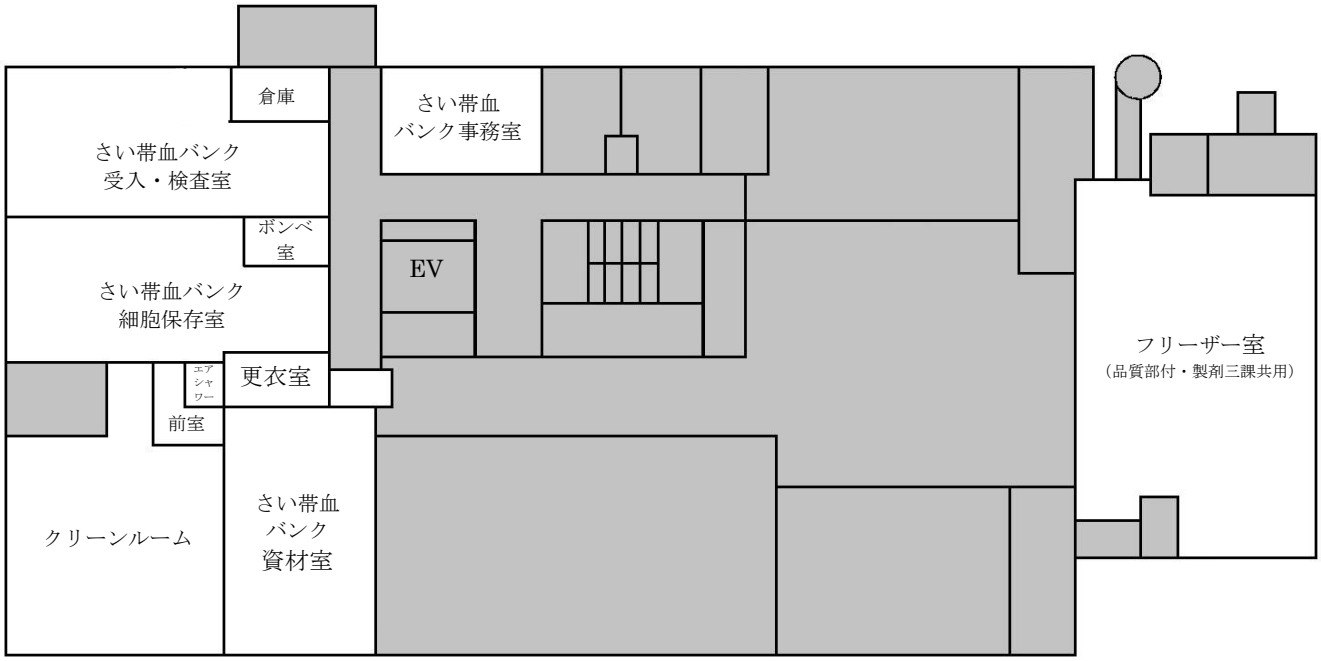


【製造棟】2/2

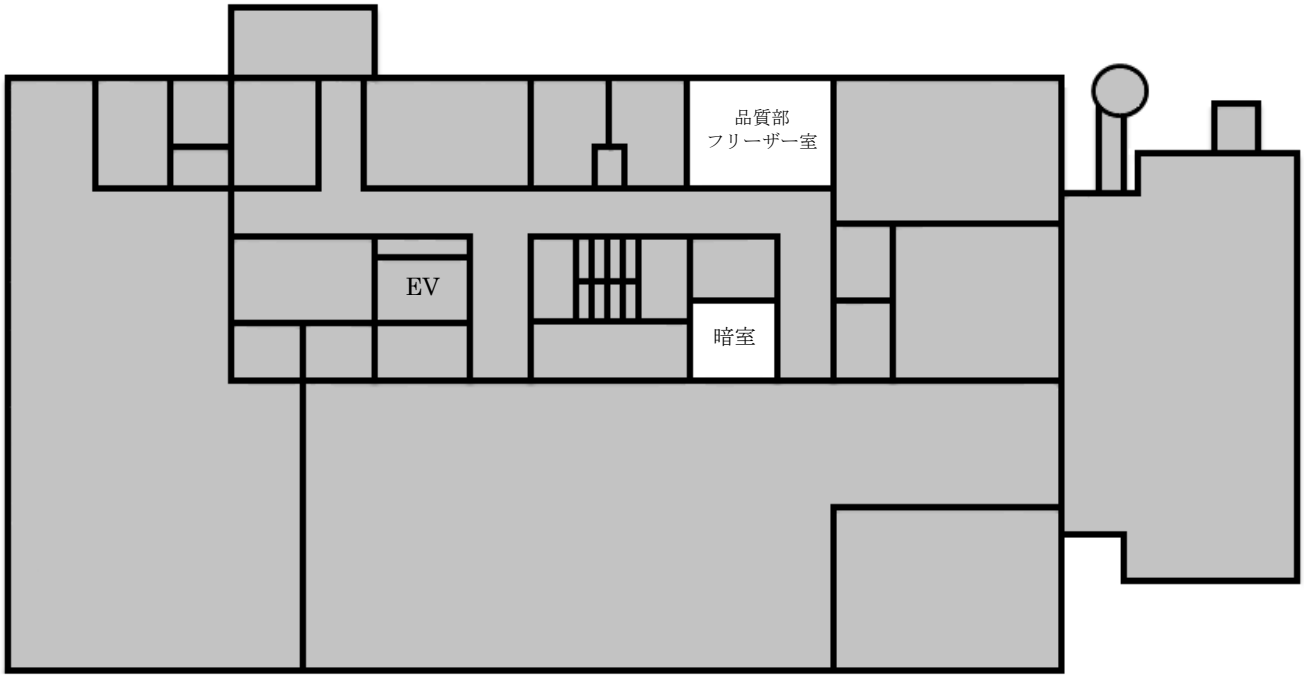

積替室冷凍室
ガイダンス
ホール
見学入口
NAT 資材室 A
NAT 室
NAT 資材室 B
積替室
機械室
検査室Ⅳ
検査室Ⅴ
見学ホール
冷凍室
保管検体室
検体冷蔵室
検査室Ⅲ
PCR 室
洗浄室
抽出室
ASSAY 室
HLA 検査室
展示ホール
検査室 I
試薬冷蔵室
クリーン
ルーム C
品質試験室
Ⅱ
検体処理室
検体受入室
二次更衣室
A
資材室 A
品質保証室
品質
試験室 I
管理棟→
搬入路
搬出路
サーバー室
事務室
資材室
C
感染性廃棄物倉庫

4．施設案内（日本赤十字社九州ブロック血液センター筑紫野分室）

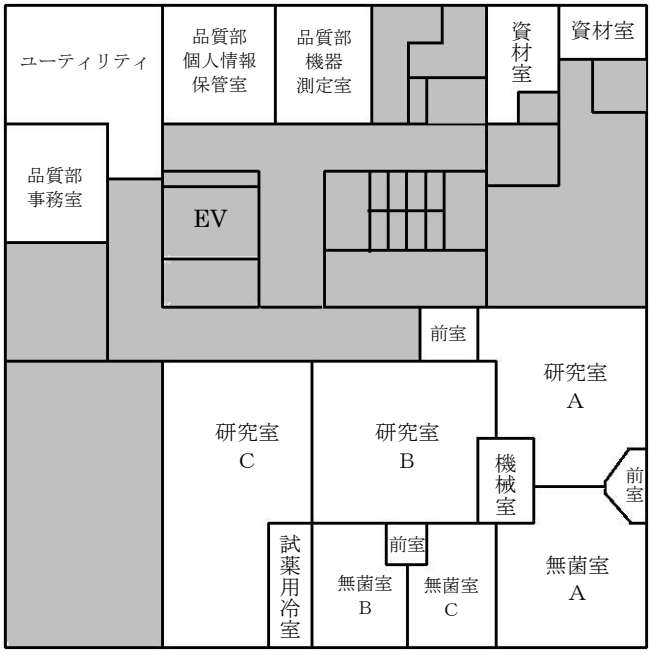
【筑紫野分室３階】



【筑紫野分室４階】



【筑紫野分室５階】



【補足説明】

白抜き部分が福岡県赤十字血液センター内の日本赤十字社九州ブロック血液センター筑紫野分室に係るエリア

５．九州の血液事業施設

令和２年４月１日時点における九州ブロック内の血液事業に係る施設は以下のとおり。

（１）製造施設(検査・製剤)

・九州ブロック血液センター

〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣 3-4-12　TEL:0942-31-8900

（２）血液センター

・福岡県赤十字血液センター

〒818-8588 福岡県筑紫野市上古賀 1-2-1　TEL:092-921-1400

・佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町 10-20　TEL:0952-32-1011

・長崎県赤十字血液センター

〒852-8145 長崎県長崎市昭和 3-256-11　TEL:095-843-3331

・熊本県赤十字血液センター

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南 2-1-1　TEL:096-384-6000

・大分県赤十字血液センター

〒870-0889 大分県大分市大字荏隈 717-5　TEL:097-547-1151

・宮崎県赤十字血液センター

〒880-8518 宮崎県宮崎市大字恒久 885-1　TEL:0985-50-1800

・鹿児島県赤十字血液センター

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1-5　TEL:099-257-3141

・沖縄県赤十字血液センター

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀 1-4-1　TEL:098-833-4747

（３）事業所・出張所

・福岡県赤十字血液センター北九州事業所

〒806-0044 福岡県北九州市八幡西区相生町 15-1　TEL:093-631-1211

・長崎県赤十字血液センター佐世保出張所

〒857-1161 長崎県佐世保市大塔町 8-66　TEL:0956-26-1866

（４）献血ルーム

・献血ルームおっしょい博多

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 2-1 博多バスターミナル 8 階

TEL:092-476-1400

・献血ルームキャナルシティ

〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25 キャナルシティビジネスセンタービル 1 階

TEL:092-272-5853

・献血ルームハッピークロスイムズ　※令和３年９月に移転

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-7-11 イムズ 8 階　TEL:092-726-1188

・献血ルームくろさきクローバー

〒806-0036 福岡県北九州市八幡西区西曲里町 3-1 イオンタウン黒崎 1 階　TEL:093-644-1211

・献血ルーム魚町銀天街

〒802-0006 福岡県北九州市小倉北区魚町 1-3-3 白樺ビル　TEL:093-551-1211

・献血プラザさが

〒849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町 10-20　TEL:0952-32-1011

・献血ルームはまのまち

〒850-0853 長崎県長崎市浜町 8-10 多真喜ビル 3 階　TEL:095-824-3332

・献血ルーム西海

〒857-0872　長崎県佐世保市上京町 6-16 オレンジアベニュービル 5 階　TEL:0956-25-2440

・日赤プラザ献血ルーム

〒861-8039　熊本市東区長嶺南 2-1-1　TEL:096-384-6727

・下通り献血ルームＣＯＣＯＳＡ

〒860-0807 熊本県熊本市中央区下通 1-3-8 下通 NS ビル 5 階　TEL:096-325-9218

・献血ルーム・わったん

〒870-1198　大分県大分市大字玉沢字楠本 755-1 トキワわさだタウン 3 街区 2 階　TEL:097-574-6822

・献血ルームカリーノ

〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東 4-8-1 カリーノ宮崎 3 階　TEL:0985-23-0007

・献血プラザかもいけクロス

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 1-5　TEL: 099-257-3141

・献血ルーム・天文館

〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町 13-16 天文館ビル 2 階　TEL:099-222-6511

・くもじ献血ルーム

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 1-3-1 セントラルビル 3 階　TEL:098-864-0368

（５）供給出張所

・宮崎県赤十字血液センター延岡供給出張所

〒882-0805 宮崎県延岡市野田 3-6-3　TEL:0982-42-3100

・鹿児島県赤十字血液センター鹿屋出張所

〒893-1204 鹿児島県肝属郡肝付町富山 1006-1　TEL:0994-45-4199

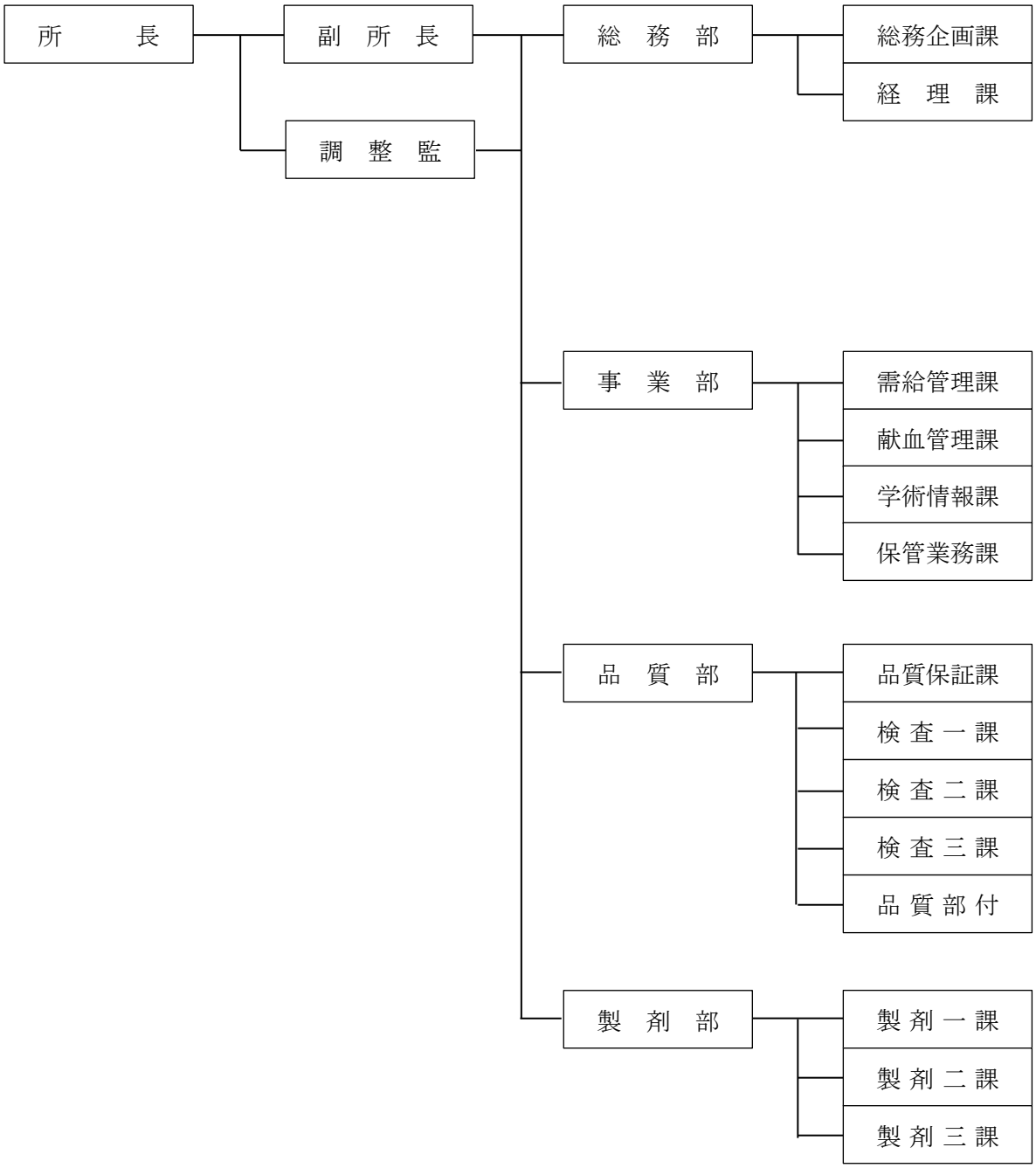
・鹿児島県赤十字血液センター川内出張所

〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷 3-284　TEL:0996-29-4199

Ⅱ　組織及び管理運営の状況

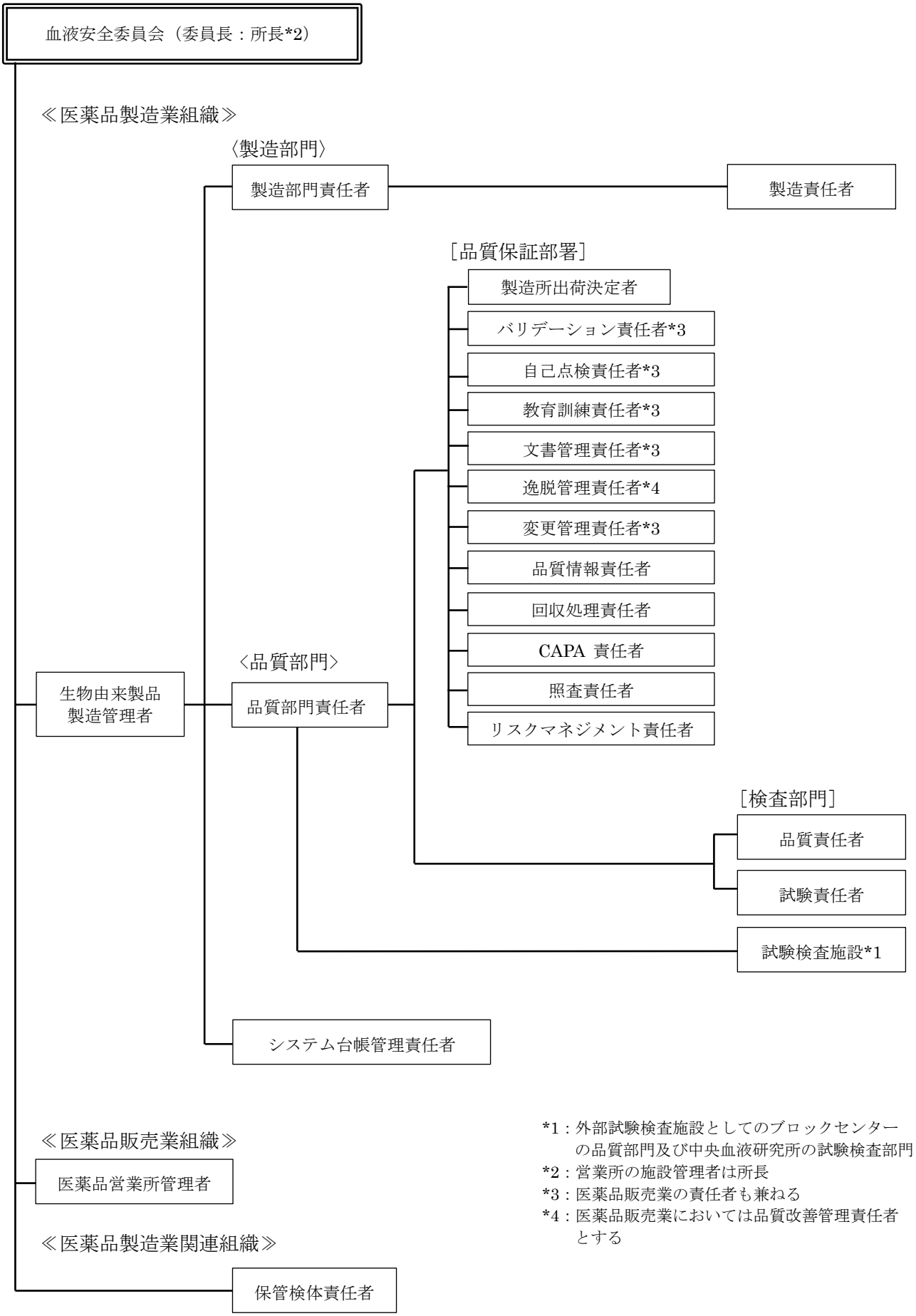
１．組織図

令和２年４月１日現在



2．管理運営

（1）事業運営機能図

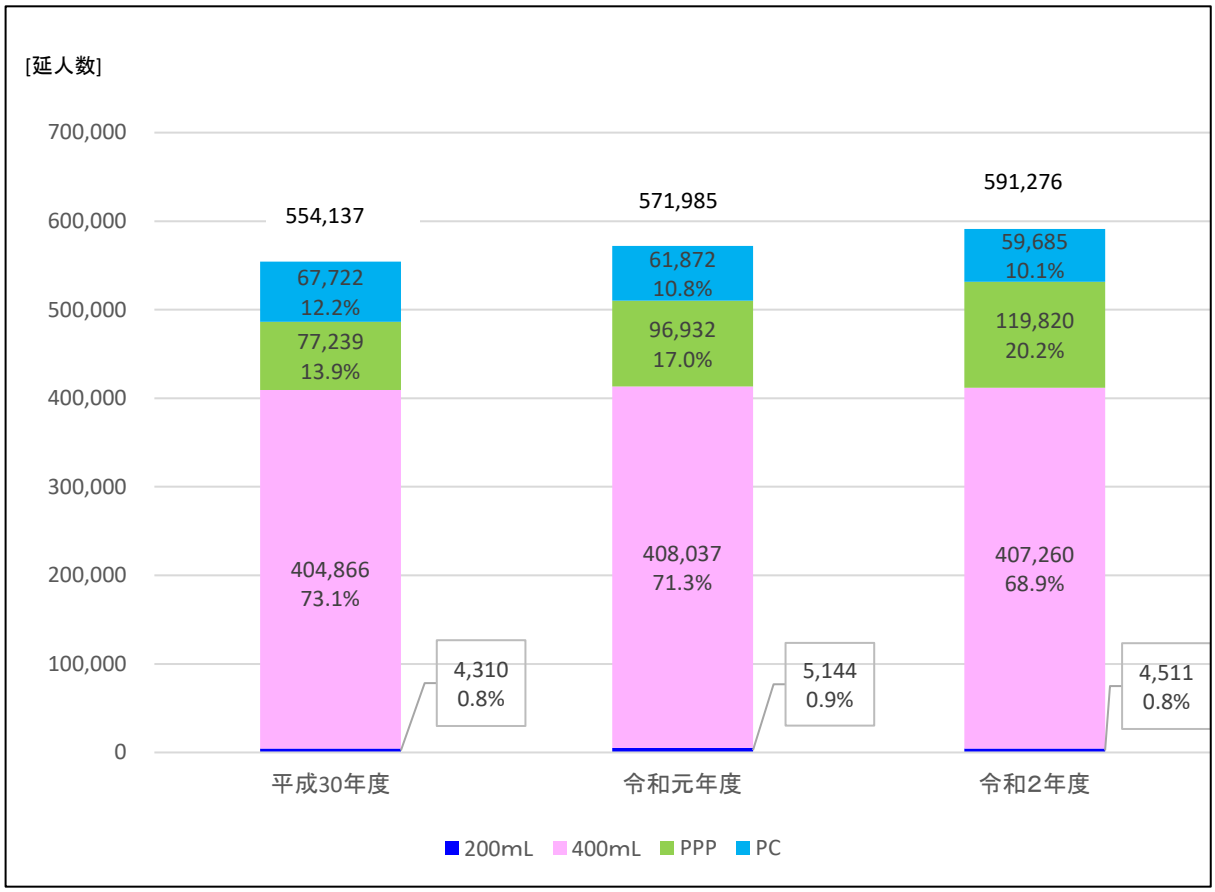


*1：外部試験検査施設としてのブロックセンターの品質部門及び中央血液研究所の試験検査部門
*2：営業所の施設管理者は所長
*3：医薬品販売業の責任者も兼ねる
*4：医薬品販売業においては品質改善管理責任者とする

Ⅲ　九州ブロックにおける献血と供給の状況

１．献血状況

（１）　献血実績



（２）　献血状況

・全ての献血種別合算・延べ献血者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	198,133	207,426	212,873
佐賀	30,178	31,188	35,149
長崎	53,349	53,214	54,947
熊本	71,765	74,399	77,069
大分	46,105	48,391	49,659
宮崎	39,929	39,113	41,699
鹿児島	61,840	64,589	65,015
沖縄	52,838	53,665	54,865
合計	554,137	571,985	591,276

・200mL 献血・延べ献血者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	6	51	65
佐賀	255	631	783
長崎	856	852	884
熊本	1,184	1,308	1,185
大分	472	1,104	459
宮崎	240	234	141
鹿児島	713	312	273
沖縄	584	652	721
合計	4,310	5,144	4,511

・400mL 献血・延べ献血者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	145,968	149,808	148,546
佐賀	18,027	17,726	18,616
長崎	38,438	37,840	37,510
熊本	51,443	52,385	53,237
大分	35,615	35,898	36,224
宮崎	30,533	29,268	29,420
鹿児島	46,157	47,615	46,377
沖縄	38,685	37,497	37,330
合計	404,866	408,037	407,260

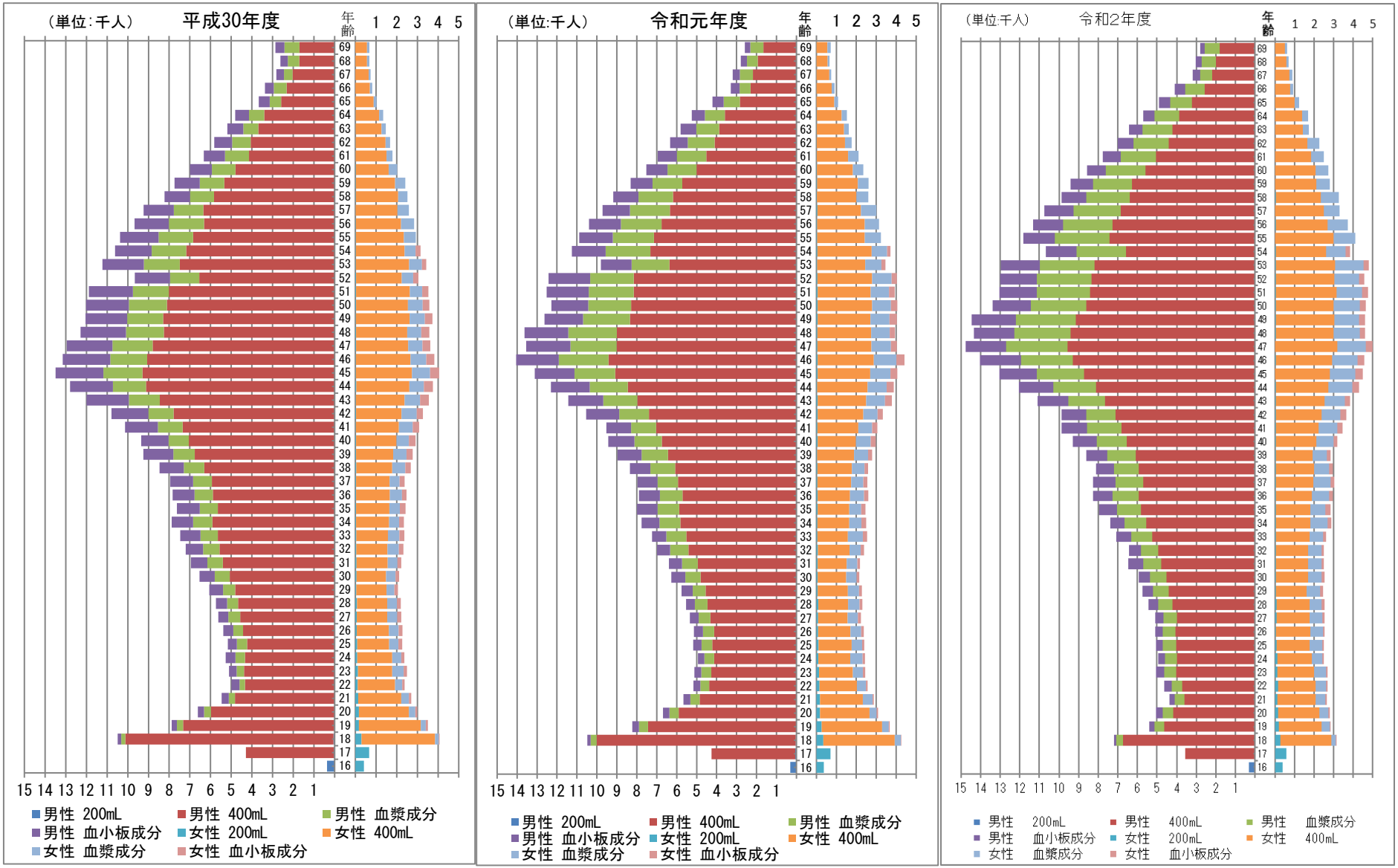
・血漿成分献血・延べ献血者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	30,936	34,351	41,422
佐賀	7,083	7,851	10,982
長崎	7,764	9,482	11,211
熊本	11,111	14,537	15,194
大分	5,534	7,482	8,721
宮崎	3,131	4,976	8,440
鹿児島	4,664	7,771	11,831
沖縄	7,016	10,482	12,019
合計	77,239	96,932	119,820

・血小板成分献血・延べ献血者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	21,223	23,216	22,840
佐賀	4,813	4,980	4,768
長崎	6,291	5,040	5,342
熊本	8,027	6,169	7,453
大分	4,484	3,907	4,255
宮崎	6,025	4,635	3,698
鹿児島	10,306	8,891	6,534
沖縄	6,553	5,034	4,795
合計	67,722	61,872	59,685

（３）　「年齢・献血種別・性別」延べ献血者数



※九州ブロック内における献血受付時の年齢、性別で集計。

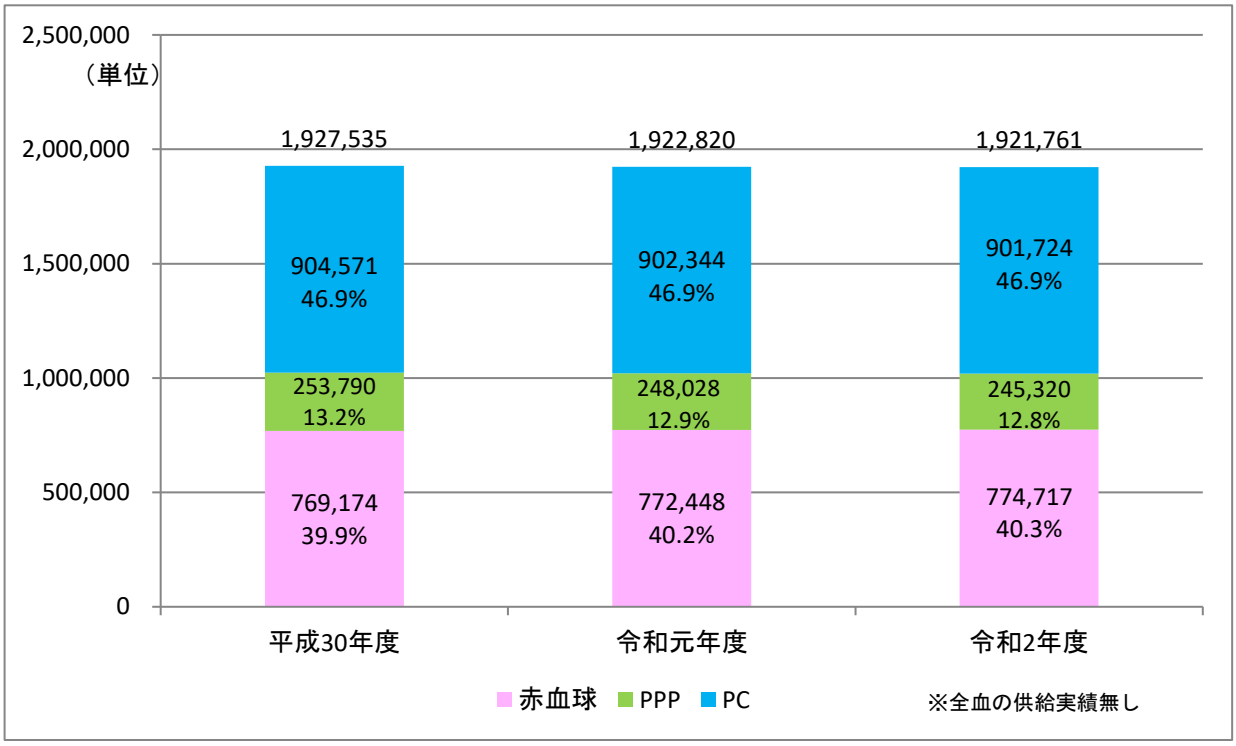
・「年齢・献血種別・性別」延べ献血者数

年齢	男性				女性			
	200mL	400mL	血漿成分	血小板成分	200mL	400mL	血漿成分	血小板成分
16	332				399			
17	36	3,545			577			
18	45	6,674	350	119	296	2,579	227	30
19	19	4,615	512	239	199	2,179	438	29
20	10	4,157	544	344	157	2,123	453	65
21	11	3,583	507	282	144	1,925	525	69
22	12	3,723	520	365	157	1,913	551	62
23	6	4,037	595	428	121	1,894	594	80
24	4	3,966	616	353	113	1,782	536	68
25	6	4,017	672	361	86	1,676	671	66
26	0	4,067	630	408	73	1,723	659	97
27	1	3,973	682	436	82	1,711	613	134
28	2	4,215	736	473	77	1,702	613	132
29	1	4,405	804	518	61	1,553	681	153
30	2	4,509	832	589	53	1,658	667	146
31	1	4,801	921	727	56	1,625	704	126
32	3	4,941	886	615	60	1,627	684	145
33	4	5,233	1,094	752	58	1,724	689	135
34	3	5,541	1,120	730	45	1,759	871	212
35	2	5,828	1,211	909	43	1,772	757	259
36	3	5,924	1,332	987	56	1,851	868	200
37	0	5,709	1,424	1,114	45	1,921	868	182
38	3	5,918	1,262	943	57	1,947	775	188
39	0	6,101	1,419	1,076	43	1,898	725	189
40	1	6,542	1,545	1,212	42	2,066	902	193
41	0	6,826	1,735	1,323	37	2,186	969	268
42	1	7,135	1,464	1,285	38	2,359	936	313
43	2	7,632	1,886	1,579	42	2,479	1,032	282
44	0	8,113	2,185	1,735	44	2,675	1,234	331
45	0	8,717	2,428	1,878	36	2,762	1,318	372
46	0	9,290	2,638	2,110	50	2,883	1,276	372
47	2	9,545	3,149	2,068	28	3,145	1,474	349
48	0	9,392	2,895	2,045	52	2,955	1,311	294
49	0	9,135	3,062	2,237	55	2,991	1,241	326
50	2	8,587	2,861	1,931	56	2,957	1,308	334
51	1	8,432	2,712	1,897	41	3,114	1,279	306
52	2	8,320	2,813	1,882	41	3,002	1,264	270
53	0	8,193	2,802	1,985	46	3,043	1,417	274
54	2	6,596	2,503	1,553	40	2,562	1,016	200
55	2	7,425	2,775	1,624	31	2,959	1,108	
56	2	7,285	2,507	1,517	37	2,662	1,021	
57	2	6,836	2,419	1,477	25	2,469	818	
58	1	6,383	2,235	1,232	37	2,319	905	
59	1	6,259	2,015	1,116	27	2,108	683	
60	1	5,585	2,012	956	29	2,051	648	
61	3	5,051	1,790	942	19	1,839	660	
62	1	4,420	1,777	795	13	1,634	614	
63	1	4,197	1,553	686	9	1,432	311	
64	3	3,879	1,232	591	15	1,382	287	
65	0	3,211	1,126	555	4	1,023	198	
66	0	2,564	1,007	527	7	774	164	
67	2	2,181	628	385	2	726	151	
68	2	2,011	722	299	5	597	121	
69	0	1,818	738	244	5	522	102	

※九州ブロック内における献血受付時の年齢、性別で集計。

２．供給状況

（１） 供給実績



※単位数について

赤血球：200mL 献血由来を 1 単位、400mL 献血由来を 2 単位として計算

血漿：FFP-LR120 を 1 単位、FFP-LR240 を 2 単位、FFP-LR480 を 4 単位として計算

血小板：製剤規格の単位数をそのまま用いて計算

※数値について

九州ブロック各県の血液センターが医療機関へ納品した純供給数としている。他ブロックとの需給調整に係る数値は含めていない。

（2）供給状況

・赤血球製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	273,189	271,814	266,003
佐賀	36,555	37,447	35,579
長崎	75,341	75,371	77,949
熊本	94,551	99,359	102,636
大分	67,190	65,408	64,808
宮崎	57,151	54,653	55,750
鹿児島	95,356	96,997	96,460
沖縄	69,841	71,399	75,532
合計	769,174	772,448	774,717

・血漿製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	93,478	91,076	86,527
佐賀	10,246	9,870	9,562
長崎	24,535	20,742	24,756
熊本	29,063	31,953	29,869
大分	22,853	18,703	19,945
宮崎	17,827	16,545	15,595
鹿児島	28,797	28,909	28,057
沖縄	26,991	30,230	31,009
合計	253,790	248,028	245,320

・血小板製剤のセンター別供給状況・単位換算

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
福岡	335,126	316,140	288,995
佐賀	30,415	33,735	29,785
長崎	95,625	99,460	105,210
熊本	97,020	97,550	109,330
大分	80,735	81,050	80,465
宮崎	82,240	73,050	70,740
鹿児島	100,493	108,055	113,620
沖縄	82,917	93,304	103,579
合計	904,571	902,344	901,724

Ⅳ　付録：各課データ集

【 総務部 】

１．総務企画課

１－１．　職員数

所長		1
副所長		1
総務部	総務部長	1
	参事	1
	総務部　総務企画課	14
	総務部　経理課	16
事業部	事業部長	1
	部付部長	1
	事業部　需給管理課	19
	事業部　献血管理課	6
	事業部　学術情報課	2
	事業部　保管業務課	5
品質部	品質部長	1
	品質部　品質保証課	7
	品質部　検査一課	14
	品質部　検査二課	11
	品質部　検査三課	14
	品質部付	2
製剤部	製剤部長	1
	部付課長	1
	製剤部　製剤一課	53
	製剤部　製剤二課	3
	製剤部　製剤三課	6
計		181

令和２年４月１日現在

１－２．　施設見学の受け入れ

	団体数	人数
赤十字奉仕団	0	0
献血推進協議会	0	0
医療技術専門学校	0	0
民生・児童・福祉委員会・協議会等	0	0
日本赤十字社関連施設	0	0
施設関係者(日赤以外)	0	0
学校	0	0
市役所、保健所等	0	0
個人	0	0
その他	0	0
合計	0	0

※新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、受け入れを一時中止している。

１−３．　その他イベント・地域貢献活動

活動内容	日程
地域清掃活動	月１回
アルカディア地区献血	４月28日、８月26日
九州ブロック内血液センター災害対応訓練	２月15日
九州ブロック血液センター内献血	12月28日
消火・避難訓練	３月１日

災害対策訓練

地域清掃活動

１−４．　労働安全

活動内容	日程
安全衛生委員会	月１回
健康診断	年１回
職員血液検査	７月～８月
ストレスチェック	９月